

2020年9月28日

呼吸器外科に通院・入院された患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体及び通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への検体及び診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 局所進行肺癌に対して導入療法後に手術として肺全摘を行った症例における手術の安全性と予後を調べる後ろ向き研究

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属] 香川大学医学部 呼吸器外科 講師 呉 哲彦

[研究の目的] 進行肺癌に対して放射線や抗癌剤治療を行った後に手術で片肺を全て切除(肺全摘)した方の治療の成績を評価します。この結果を元に放射線と抗癌剤治療の後の肺全摘という手術の方法が妥当かどうかを検討し、今後の治療法の選択に役立てるために行います。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2000年1月1日から2019年12月31日の間に香川大学医学部附属病院 呼吸器外科で肺癌に対して肺全摘という手術を受けられたかた。

○利用する検体・診療情報

検体：特になし

診療情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果(血液検査、画像検査、病理検査結果)手術記録、臨床経過情報。

[外部への検体・診療情報の提供]

予定していません。

[外部からの検体・診療情報の提供]

予定していません。

[研究組織]

香川大学医学部附属病院 呼吸器外科

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院呼吸器外科 担当医師 呉 哲彦
電話 087-891-2191 FAX 087-891-2192